

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 2月 14日

事業所名 ぼとと

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7		16時以降児童室、リハ室を使用している	引き続き、子どもたちに最善の環境を提供していきます。
	2 職員の配置数は適切である	5	2	応援をもらって対応している 少人数でよく担当している 個人対応が必要な場合改め配置決めしている	定められた人数に加えて、直接支援を行う人員を増やして、より質の高い支援に取り組んでいきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	3	可能な範囲で行える	環境整備を行いながら、対応していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	1	月一度の職員会議前に職員間で話し合っている	常に改善を行えるように、意思疎通を密に行っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			引き続き、保護者のフィードバックを業務改善に役立てていきます。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			ホームページにて公表していきます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		保護者が参観に来られた際にアンケートを配布して、その内容を業務改善に役立てています。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		ネットサービスや研修を通じて行うことができています	島外への研修には参加が難しい状況のため、オンラインでの研修参加に取り組んでいます。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7		面談にて	引き続き、保護者のニーズや困り感を把握して、計画を作成していきます。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		無回答 1 ヴァインランド、面談時に取り始めている	認知機能の評価に加えて、適応行動についての評価にも取り組んでいきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1		質の高い支援ができるように取り組んでいきます。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	1		評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に必要な支援に取り組んでいきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	1	土曜日、休日、長期休暇時に屋外療育を行っている	評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に必要な支援に取り組んでいきます。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	1	適宜組み合わせは行っているが計画は作成していない 小学校ごとに集団活動を行う等児童の人間関係考慮し計画している	評価結果や学校での様子を確認しながら、柔軟に個別・集団での活動に取り組んでいきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		情報共有を常に行い、リスク管理や支援がスムーズに行えるように取り組んでいきます。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1	必ずではない。何かあった際は共有している 支援経過に記入し共有している 箱記事項があった際は行っている送りの順で時間が当日取れない場合業務日誌に記入し行っている	情報共有を常に行い、リスク管理や支援がスムーズに行えるように取り組んでいきます。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	支援計画、ノート	日々の結果を検証して支援を柔軟に変更できるように、職員個々の力を高める取り組みを行っていきます。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7		カンファレンスを実施している 理事長にお願いしているが評価等職員側の情報収集が必要	評価の解釈の幅を広げることができるように、職員教育を行っていきます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	7			引き続き、評価結果に合わせて、必要な支援を複数組み合わせさせていただきます。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1	担当職員又は引き継ぎを行い参画している	管理者対応で引き続き行っています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	7		週報にて行っている又送迎時に情報共有している	情報の共有を行い、引き続き学校と連携していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	無回答 1 かかりつけ医は家族より聞き取りしている 理事長が発達外来医師と定期的に情報共有している	現在は医療的ケアが必要な児童は在籍していないが、必要な場合は連絡体制を整えていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7			引き続き、情報共有を行っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	1	無回答 1 事例がまだない。	今後対象となる児童がいれば対応していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	分からない	療育相談や発達発育クリニックを通して連携を行っていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	4	コロナの為、行き等企画できていない	普段から利用児童は、学校に通学しているため、特段必要がないと考えているが、必要に応じて取り組んで行く。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	2	理事長	法人として参加しており、引き続き、情報提供を行っていきます
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		ラインオフィシャル	連絡ノートに加えて、インターネットを利用した双方向のやり取りを引き続き行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	7		支援経過記録などを作成し共通理解を行っている 面談時に説明できるように行っている	引き続き、保護者面談時に保護者支援を行うとともに、計画的にペアトレに取り組んでいきます。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7		契約時、面談時に理事長より行っている	引き続き、保護者が理解できるように説明を行っていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7		職員間で情報共有ファイルなど情報を共有し全員が把握し対応している 連絡があった場合は連絡ノートからの相談等には理事長より連絡している	引き続き、相談があった場合は、適時対応していく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	以前は行っていたがコロナの為にできていない	社会的状況を確認しながら、実施に向けて検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			引き続き、苦情があった場合は、適切に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	ホームページ	ホームページやLINEofficialを通じて、情報発信を行います。
	35	個人情報に十分注意している	7			引き続き、マニュアルの改訂や職員教育に取り組み、個人情報に関する取扱いには注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			引き続き、スムーズな意思疎通が行えるように取り組んで行きます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4	コロナの為にできていない コロナや個人情報により行事等に招待は行っていない	社会的状況を確認しながら、実施に向けて検討していきます。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6	1		引き続き、職員に対しては入職時に各マニュアル説明を行い、職員会議を通して改定を行います。また、保護者に対しては契約時にマニュアルについて説明を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			引き続き、消防署の協力をもらいながら、定期的な訓練を行っていきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			引き続き、マニュアルの改定や研修を通じて、虐待防止に取り組んで行きます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	現在必要としない為	引き続き、マニュアルの改定や研修を通じて、身体拘束防止に取り組み、必要に応じて対応を行っていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			引き続き、医師の指示に基づいた対応と、訓練に取り組んで行きます。

43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			引き続き、リスク管理に組織的に取り組んでいきます。
----	---------------------------	---	--	--	---------------------------